

◆特集 医療体験活動報告会 旧2年生の医進グループが発表◆

3月21日（月）に旭川医科大学が主催して「医療体験活動報告会」が実施されました。これは、旭川医科大学による「ふるさと医療人育成の取り組み」の一環として行われています。参加者は、大学の先生・大学生・病院等で医療に携わっている方・高校生・高校教員です。本校では医学部医学科に入学することのできる学力の育成を目指しつつ、それだけではなく、大学の先生に来ていただいて講話等をしていただく「メディカル講座」や、さまざまな「体験学習」を通して、倫理観を含む確かな職業観をもった医療人に近づくための取り組みを行っています。午前中は口演（スライドを使った発表）です。200人近い人を前に各校の代表者が発表します。

（↓湖陵高校の発表の様子）



昨年度は9名の医進グループが活動していました。そのうち、旧2年生の2名が代表して札幌で発表してくれました。なお、札幌での発表に向かう前に、本校で旧1年生の医学科進学希望者向けに同内容の発表を行いました。20名ほどの参加がありましたが、終了後、発表者に対して質問を投げかける生徒もいるなど、有意義な時間となりました。札幌での発表は堂々としたもので、発表姿勢、発表内容ともに、参加していた医療関係の方や高校教員などからお褒めの言葉をいただきました。発表内容について、発表者である2人はもちろんのこと、他の医進メンバーの意見も参考にしながら、直前まで手直しを加えていたこともよかったのではないかと思います。

◆ 3月21日の時程
10:00～12:00 高校生医療体験活動報告会
13:00～15:00 高校生地域医療討論会

第7回高校生による医療体験活動報告会 口演発表（1校あたり7分）
①釧路湖陵高校「地域の医療について」 ②旭川東高校「地域医療体験に参加して」
③岩見沢東高校「医療と介護の隔たりはなくなってしまったのか？」 ④北見北斗高校「北見のがん治療」
⑤函館中部高校「北海道の救急医療は本当に救急か？」 ⑥遺愛女子高校「女性医師について」
⑦小樽潮陵高校「高校生の遺伝子検査に対する意識」 ⑧室蘭栄高校「東胆振と西胆振の医療問題の比較」
⑨札幌東高校「札幌市につくる救急病院」 ⑩札幌西高校「対人口比だけで医療資源不足を議論するのは正しいのか？」

- 実際に発表を聞いた方々からの感想です。
- ・トップバッターとして、とてもいい発表だった。自分たちの地域のことについて詳しく説明されていて良かった。
 - ・医師の悩みなど、医師の目線から見た医療についての内容がとても興味深かったです。
 - ・「未来の医師へ求めたい7つのこと（①「わからない」の重み②本当にやりたい分野③患者さん主体の医療④幅広い視野で診察⑤豊富な雑学⑥他人を敬う気持ち⑦やりたくなくても率先して積極的に真摯に）」が、なるほどと思った。人間力を磨きたいと思った。
 - ・地域医療について鋭い眼を持っているなどと思った。
 - ・高速道路拡大のことを話していて、高速道路を使用することで時間 の短縮や患者さんの身体への負担が軽減されるとあって、すごく良いと思った。
 - ・多くのことを学んだことがよくわかるプレゼンテーションでした。「自分たちがどう思ったか」「どうしていきたいか」をもっと強調すると、良かったのではないかなと思う。
 - ・釧根地区の今後の医療形態まで考察され、良い発表だったと思います。疑問をぜひ、来年の生徒の皆さんにもつなげて下さい。

午後の「地域医療討論会」ではKJ法という手法を用いて志を同じくする他校生とディスカッションをしました。初対面同士でしたが、活発に発言し合う姿が見られました。また、右の写真にあるような、ポスターによる発表もありました。湖陵でも札幌でも体験を通じた学びを、志望を実現する行動へとつなげることが大切です。



計画したことをどこでやるか、時間表に記入してみる。（登校日も含む）

	29(金)	30(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)	5(木)	6(金)	7(土)	8(日)
6:00										
7:00										
8:00										
9:00										
10:00										
11:00										
12:00										
13:00										
14:00										
15:00										
16:00										
17:00										
18:00										
19:00										
20:00										
21:00										
22:00										
23:00										
0:00										

■ふりかえり